

	重点取組	目標	指標（現状）	（参考）2027年目標値（案）
1	ポストコロナの創造的な文化芸術活動の推進	舞台芸術やメディア芸術などの分野における文化芸術活動の活性化と文化芸術水準の向上。文化芸術団体・芸術家等の基盤強化、自律的運営、資金調達多様化による持続可能な発展。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民の鑑賞活動への参加割合：(舞台芸術)25.4%、(映画)30.7%</li> <li>・国民の鑑賞以外の文化芸術への参加割合：(メディア芸術)1.6%</li> <li>・ライブ・エンタテインメント市場の成長率：5,652億円</li> <li>・コンテンツ市場の規模の成長率：14.7兆円</li> <li>・(P)文化芸術活動基盤強化基金による支援を受け若手クリエイター等（育成対象者）を企画段階から登用した公演・展示の数：－</li> <li>・第2期計画期間中における人材育成事業を通じた文化芸術の担い手の育成数：(舞台芸術)5,132名、(映画)54名、(メディア芸術)65名</li> <li>・文化施設の利用者数・稼働率：(博物館等の入場者数・利用者数0.7億人、劇場・音楽堂等の施設稼働率76.7%)</li> <li>・事業環境改善を実感する芸術家等の割合：20%</li> <li>・支援事業／団体の運営改善(2023年比較の自己収入の増加率)：－</li> <li>・文化活動への寄付を行う国民の割合：3.9%(過去3年平均)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ (舞台芸術)33%、(映画)35%</li> <li>➢ 2.6%</li> <li>➢ 2023年度比4%増加</li> <li>➢ 2023年度比5%増加</li> <li>➢ (P)44件（2025年度）</li> <li>➢ 2023年から2027年まで(舞台芸術)40,000名、(映画)250名、(メディア芸術)270名</li> <li>➢ 利用者数1.4億人、稼働率80%</li> <li>➢ 50%</li> <li>➢ 150%</li> <li>➢ 5.0%</li> </ul>
2	文化資源の保存と活用の一層の促進	文化財の保存と活用の好循環の構築。世界文化遺産・無形文化遺産の登録推進。文化遺産国際協力の推進。文化財の防火・防災対策の充実。重要伝統的建造物群保存地区、重要文化的景観、史跡名勝天然記念物の確実な継承。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財の保存・継承に欠かせない用具・原材料の生産支援分野の拡大：13分野</li> <li>・選定保存技術保持者・保存団体が実施する研修の参加人数：2,700人</li> <li>・適切な保存活用を図るために保存修復が必要な国指定等文化財のうち、保存修復が実施される割合（修復実施件数÷修復必要件数）：92.3%</li> <li>・国指定等文化財を活用したコンテンツの実施件数：16件</li> <li>・世界文化遺産登録件数：20件</li> <li>・ユネスコ無形文化遺産の登録件数：22件</li> <li>・文化遺産国際協力に係る事業で実施した研修の受講者の満足度：90%</li> <li>・世界遺産・国宝の防火対策の進捗率：36%</li> <li>・世界遺産・国宝の耐震対策の着手率：35%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 30分野</li> <li>➢ 3,500人</li> <li>➢ 95%</li> <li>➢ 50件</li> <li>➢ 23件</li> <li>➢ 24件</li> <li>➢ 95%</li> <li>➢ 100%</li> <li>➢ 100%</li> </ul>
3	文化芸術を通じた次代を担う子供たちの育成	子供たちが文化芸術に継続して親しむことができる機会の確保。豊かな心や文化的な伝統を尊重する心の育成。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の文化芸術活動の参加率：(直接鑑賞)63.8%、(鑑賞以外)30.4%</li> <li>・過去に、文化芸術の鑑賞・体験機会がない子供たちが、学校等での鑑賞・体験事業を通じて、文化芸術への興味関心を持った割合（もう一度文化芸術を見たり、聞いたりしたいと考える子供の割合）：61.8%</li> <li>・(自分で楽器を弾いたり、歌ったり、絵を描いたり、演じたり、踊ったりしてみたいと考える子供の割合)：54.7%</li> <li>・1年間に子供を対象にした文化芸術鑑賞機会及び体験機会のどちらも行った学校の割合：14.7%</li> <li>・鑑賞を契機として3か月以内に舞台芸術活動（出演、習い事、体験活動への参加等）を始めた割合：－</li> <li>・休日の文化部活動の地域連携・地域移行に関する取組を開始した市区町村の割合：38%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ (直接鑑賞)80%、(鑑賞以外)40%</li> <li>➢ 80%</li> <li>➢ 75%</li> <li>➢ 30%</li> <li>➢ 15%(P)</li> <li>➢ 100%</li> </ul>

	重点取組	目標	指標（現状）	（参考）2027年目標値（案）
4	多様性を尊重した文化芸術の振興	性別、年齢、障害の有無や国籍等にかかわらず、誰もが生涯を通じて、あらゆる地域で文化芸術に親しみ、その豊かさを享受できる環境づくり。社会全体として国語の重要性を認識し、理解を深め、生涯を通じて国語力を身に付けていく。日本語教育の水準の維持向上。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者による文化芸術の活動割合：(直接鑑賞)2018年42.6%、2020年26.4%、(鑑賞以外)2018年16.3%、2020年11.2%</li> <li>・障害者による文化芸術活動の推進に関する計画等を策定した都道府県数：31</li> <li>・日常の言葉遣いや話し方、文章の書き方など国語について関心がある者の割合：81.8%</li> <li>・在留外国人数に占める日本語教育実施機関・施設等における日本語学習者数の割合：7.1%</li> <li>・日本語教室がある市区町村の割合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 2025年度までにコロナ禍前に回復、2027年度まで更なる向上</li> <li>➢ 47</li> <li>➢ 85%</li> <li>➢ 10.0%</li> <li>➢ 60%（2026年）</li> </ul>
5	文化芸術のグローバル展開の加速	文化芸術のグローバル展開や海外発信の戦略的な推進。文化面での国際交流の充実。世界に開かれた文化芸術の拠点となる。文化芸術の国際発信の強化、インバウンド誘致に向けた取組の促進。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際的なアートフェアにおける日本のギャラリーの出展数：3件（アートバーゼル）</li> <li>・ARTFACTアーティストトップ100にランクインした日本出身アーティスト数：4名</li> <li>・日本と諸外国との文化交流が、両国の相互理解や信頼関係が深まり、国際関係の安定につながると回答する者の割合：36.3%</li> <li>・国際的なアート市場に占める我が国市場規模の国・地域別順位の上昇：8位</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 5件</li> <li>➢ 5名</li> <li>➢ 50%</li> <li>➢ 7位（2025年）</li> </ul>
6	文化芸術を通じた地方創生の推進	国立文化施設の機能強化・整備、博物館の機能強化。文化芸術によるまちづくり、地域の文化資源の効果的な活用、伝統行事等の継承、地域の文化振興体制の構築・強化等の推進。日本各地の多様な文化の振興。観光需要の回復。生活文化の総合的な振興。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国立美術館・博物館の常設展入場者数：298万人</li> <li>・博物館等の入場者数・利用者数：0.7億人</li> <li>・地域の文化的環境の満足度：31.9%</li> <li>・劇場・音楽堂等の施設稼働率：76.7%</li> <li>・文化庁長官認定を受けた文化財保存活用地域計画の累計件数:96件</li> <li>・日本博への訪日外国人参加者数：約10.2万人</li> <li>・日本遺産認定地域における観光入込客数の目標を達成した地域の割合：24.5%</li> <li>・文化観光推進法上で認定された拠点計画・地域計画において、各計画にて設定されている来訪者の満足度に関する目標を達成した計画数の割合：80.9%</li> <li>・文化財登録された食文化件数：10件</li> <li>・食文化を用いた経済活動を行う自治体・団体等の数：231件</li> <li>・調査研究事業が進捗している生活文化の分野数：9件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 468万人</li> <li>➢ 1.4億人</li> <li>➢ 60%</li> <li>➢ 80.0%</li> <li>➢ 180件</li> <li>➢ 31万人（2025年）</li> <li>➢ 80%</li> <li>➢ 80%</li> <li>➢ 14件（2026年度）</li> <li>➢ 416件（2026年度）</li> <li>➢ 15件</li> </ul>
7	デジタル技術を活用した文化芸術活動の推進	デジタル技術を活用した創作活動の振興、文化芸術のデジタル・アーカイブ化による保存・活用の促進。著作物の利用によるクリエイターの対価の創出や増加が、新たな創作活動につながるという「コンテンツ創作の好循環」を最大化する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化遺産オンラインへの情報掲載数及び訪問回数：28万件、530万回</li> <li>・国指定文化財等のデジタル・アーカイブ化の状況（国指定文化財等データベースにおける画像公開率）：67%</li> <li>・国指定文化財等のデジタル・アーカイブ化の状況（国立博物館・美術館） <ul style="list-style-type: none"> <li>○国立科学博物館 標本・資料統合データベースのメタデータ数：247.5万件</li> <li>○国立美術館 所蔵作品メタデータ公開率93%、画像公開率68.2%</li> <li>○国立文化財機構 主な活用が見込まれる所蔵品のColBaseでの画像公開率：30%</li> </ul> </li> <li>・収蔵品のデジタル・アーカイブ化を実施している博物館：357館</li> <li>・舞台芸術のデジタル・アーカイブ状況（人材育成・収益化に向けた舞台芸術デジタルアーカイブ化推進支援で収集した作品数）：2,400作品</li> <li>・鑑賞や創作などの文化芸術活動の中で著作権について意識している人の割合：46.0%</li> <li>・海賊版による著作権侵害の相談窓口への相談者の有益度指数：86.0%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 30万件、800万回</li> <li>➢ 100%</li> <li>➢ 287.5万件</li> <li>➢ メタデータ公開率100%</li> <li>➢ 画像公開率80%</li> <li>➢ 50%</li> <li>➢ 2倍(714館)以上</li> <li>➢ 約5,000作品</li> <li>➢ 60%以上</li> <li>➢ 90%以上</li> </ul>